

3

基本計画

各論



基本目標ごとの施策

久留米未来デザイン計画

KURUME
DESIGN



「安全・安心な暮らし」を守る

めざす姿

暮らしの安全・安心が確保され、
災害や感染症など危険な状況が発生したときも
命や暮らしを守る機能が整ったまち

施策分野

防災

生活安全

保健・医療

施策

01



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



災害に対する強靱な地域づくり

気候変動による災害の頻発・激甚化や南海トラフ地震など大規模な災害が想定される中、災害リスクを最大限取り除き、人々が安心して住み続けられるまちづくりを進めていく必要があります。

高い防災機能を備えた強靱な都市を構築するため、ハード・ソフト両面から地域防災力の強化を図るとともに、女性や高齢者、障害者をはじめ、誰もが安全で安心して避難できる環境づくりと被災者支援に取り組みます。

ハード・ソフト両面からの 災害対策の推進

- 流域のあらゆる関係者が協働で取り組む流域治水の充実・推進
- 国・県・市で連携した治水対策における施設整備の推進
- 自助・共助・公助意識の醸成
- 地域の防災人材の育成と自主防災活動の活性化
- 災害発生後の様々なフェーズにおける多様な主体との連携
- 防災 DX 推進による迅速な被災状況把握と情報発信

安全・安心に避難できる 環境づくり

- 協働や自主運営による避難所の確保と安定的運営の推進
- 避難行動要支援者が確実に避難できる取組の推進
- 避難所の設備や備蓄品の充実
- 避難行動につながる防災啓発活動の推進

施策

02



日常の暮らしを守る安全対策の推進

電話・SNS を利用した新たな詐欺事件や高齢者の交通事故など、社会環境の変化に伴って発生する事件や事故が地域社会にも広がっており、日常の暮らしを脅かす危険や不安などへの対策が求められています。

日頃からの地域のつながりを大切に、セーフコミュニティ活動などを通じて協働の仕組みを強化しながら、防犯や暴力追放、交通安全対策など、地域の暮らしの様々な分野における安全・安心のまちづくりを進めます。

生活安全対策の充実

- セーフコミュニティ活動による安全・安心のまちづくり
- 消費生活の教育・啓発、情報発信、相談体制の充実
- 犯罪被害者等の相談体制の充実

防犯対策・暴力追放の推進

- 市民や事業者、地域との協働による防犯活動の推進
- 特殊詐欺など新たな犯罪被害防止対策の推進
- 地域が一丸となった暴力追放運動と暴力団排除活動の展開

交通安全対策の推進

- 子どもや高齢者の交通事故防止の推進
- 交通安全団体等との連携による交通安全意識の向上
- 交通事故防止のための環境整備

各論

施策

03



いのちと健康を守る 保健医療の体制づくり

新型コロナウイルス感染症は、地域の保健医療体制に危機的な状況をもたらしました。今後も、新たな感染症や進行する高齢化、人口減少などに対応できる保健医療体制の維持が求められています。

市民のいのちと健康を守るため、医療機関等と連携した地域医療や救急医療体制の確保を図るとともに、保健所機能や健康危機管理体制などの保健衛生体制の充実に向けた取組を進めます。

地域医療体制の維持

- 医療機関等と連携した地域医療・救急医療体制の維持
- 広域小児救急医療体制の継続的・安定的な運営
- ICT を活用した医療効率化の支援
- 在宅医療・介護連携の推進

保健衛生体制の充実

- 健康づくり・健康危機管理の拠点としての保健所機能の充実・強化
- 感染症や食中毒、自然災害発生時の健康危機管理体制の強化
- 動物愛護センターを核とした動物愛護・適正飼育の推進

「自分らしく輝き続けられる社会」をつくる

めざす姿

一人ひとりの人権が尊重され、誰もが自分らしい暮らしを営みながら生きがいをもって活躍し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまち

施策分野

人権

男女共同
参画

健康
生きがい

高齢者
障害者
生活困窮

施策

04



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



一人ひとりが尊重される 人権意識の確立

これまで、すべての人の人権の尊重を基本としてまちづくりを進めてきましたが、今もなお、人権侵害が発生しています。

また、情報化や国際化が進む中で、インターネットやSNS上の人権侵害や新たな人権問題が顕在化しています。

近年、施行された様々な人権問題に関する法律を踏まえながら、地域や学校、関係団体等と連携し、市民一人ひとりの人権意識を確立するとともに、社会全体であらゆる差別や人権侵害をなくし、人権を尊重するまちづくりを進めます。

人権意識の確立

- 人権意識を確立するための教育や啓発の推進
- 地域や学校、関係団体等と連携した人権のまちづくり
- 同和問題をはじめ、様々な人権問題の解決に向けた取組の推進

人権擁護の推進

- 子ども、女性、高齢者、障害者、外国にルーツをもつ人等へのあらゆる差別の解消
- 人権侵害の未然防止、保護・救済、相談・支援体制の充実
- 意思決定支援などの権利擁護の推進
- 関係機関・団体等との情報共有・ネットワークの強化

施策

05



自分らしく輝く男女共同参画社会の実現

家庭や地域、職場など、市民の身近な生活の場において、固定的な性別役割分担意識による慣習や慣行、制度が根強く残っており、また、生活困窮、性暴力・性犯罪被害など女性をめぐる課題がより顕在化しています。

これらの課題を解消し、誰もが性別にかかわらず、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー平等の意識づくりや様々な分野での女性の活躍を促進します。

ジェンダー平等の推進

- 固定的性別役割分担意識の解消とジェンダー平等の意識づくりに向けた啓発、教育の実践
- 困難な問題を抱える女性等が安心して暮らせる環境の整備
- 男女がともに仕事と家庭を両立できるワーク・ライフ・バランスの推進

女性の活躍の促進

- 様々な意思決定場面への女性参画の環境づくり
- 男女の均等な雇用機会と待遇の確保、女性の就業や起業の支援
- まちづくりや地域活動における男女共同参画の促進

各論

施策

06



健やかに暮らし活躍できる健康と生きがいづくりの推進

生涯を通じて質の高い生活を送り、いきいきと活動し続けるためには、主体的な心身の健康づくりとともに、自らの意思決定に基づき、就労や多様な社会活動など、社会や地域で活躍できる環境が重要です。

健康寿命の延伸に向けて、ライフコースアプローチの観点を取り入れ、市民一人ひとりの生涯を通じた心身の健康づくりを支える環境を整備するとともに、個人の状況やライフスタイルに応じて就労や社会参加ができ、自分らしく生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めます。

こころと体の健康づくり

- 市民の主体的な健康づくりの推進
- 生活習慣の改善、生活習慣病の発症・重症化予防の推進
- メンタルヘルスに関する相談支援の強化、セルフケアの推進
- 自殺対策に関する市民啓発や人材育成の推進、関係機関とのネットワークの強化

高齢者の就労・社会参加の促進

- 就労相談・支援、事業所への情報発信による就業機会の確保
- 多様な社会活動への参加と生きがいづくりの促進

障害者の就労・社会参加の促進

- 一般就労の促進、福祉的就労の充実
- 情報アクセシビリティの向上と意思疎通支援の充実
- 多様な社会活動への参加と生きがいづくりの促進



安心して暮らし続けられる福祉の充実

高齢化に伴って増加が見込まれる認知症の人や一人暮らし高齢者をはじめ、障害がある人、困りごとを抱える人など、人々の置かれた状況は様々で、その課題は多様化・個別化しています。

高齢者や障害者、生活に困難を抱える人など、生活をしていく上で支援を必要とする人が、それぞれのニーズに応じた福祉サービスを受けることができ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを進めます。

高齢者福祉の充実

- 介護予防・認知症施策、一人暮らし高齢者等の終活支援の推進
- 地域包括支援センターを核とした相談支援体制の充実
- 介護人材の確保、定着支援など持続可能な介護保険事業の推進
- 在宅医療・介護連携の推進

障害者福祉の充実

- 基幹相談支援センターを核とした相談支援体制の充実
- 個々の発達段階に応じた療育・保育・教育の切れ目のない支援
- 自立生活の支援強化と福祉人材の確保・育成

生活困窮者支援の充実

- 生活自立支援センターを核とした自立相談支援体制の充実
- 家計改善支援、就労支援などによる早期的、包括的な支援
- 居住不安定者等への見守りや生活支援





基本目標 **3**

「つながり支え合う地域」をつくる

めざす姿

様々な主体とのつながりの中で、それぞれの居場所と役割を持ち、支えたり支えられたりして、ともに地域を創り、暮らしていける誰ひとり孤立させないまち

施策分野

地域共生

市民活動

地域
コミュニティ

多文化共生

施策

08



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地域で支え合うつながりづくりの推進

地域の状況に応じた様々な支え合いの取組が進んでいる一方で、人口減少や価値観の多様化などの社会環境の変化により、人と人とのつながりの希薄化、担い手不足が進んでいます。

地域で生活し、活動する様々な人や団体などが、世代や分野を超えてつながり、支え合う関係性や居場所づくりに取り組むとともに、一人ひとりが地域福祉を自分ごととして捉え、普段の暮らしの中での支え合いが生まれる地域づくりを進めます。

地域の支え合い活動の推進

- 支え合い意識向上のための地域住民への啓発や情報発信
- 地域における様々な支え合いの場づくりの推進
- 住民一人ひとりができる支え合い活動の促進

地域共生社会に向けた包括的な支援体制の構築

- 関係機関や市民活動団体などと連携した包括的な相談支援体制の構築
- 困りごとを抱える人の社会とのつながりづくりの支援
- 地域の様々な主体がつながるネットワークづくり

施策

09



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



地域をともに創る 市民活動の活性化

これまでの協働の取組を通じて、様々な分野で市民活動が広がってきましたが、少子高齢化・人口減少の進行や共働き世代の増加などによる市民活動の担い手不足とともに、活動資金の確保が課題になっています。

多様な市民や主体が地域社会でつながり、活躍する協働のまちづくりに向けて、地域の課題解決に取り組む市民活動団体の持続可能な活動を支援する仕組みの構築と市民活動の裾野拡大を進めます。

市民活動の意欲向上や活動への参加促進

- 市民活動への参加意欲を高め、活動を促進するための仕組みづくり
- 事業者、大学等を含めた多様な主体のまちづくりへの参加意欲の醸成や参加促進

持続可能な市民活動の仕組みの構築

- 市民活動の担い手確保や活動の拡大に向けた取組の推進
- 市民活動を持続可能な活動とするための多様な支援の充実
- 民間団体等との連携による市民活動活性化の仕組みの構築

多様な市民・組織の連携促進

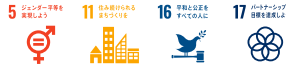
- 多様な主体による連携・協力の促進
- 各分野をリードする団体の育成とネットワークの形成

施策

10



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



地域をともに創る 地域コミュニティの活性化

価値観やライフスタイルの変化をはじめ、地域のつながりの希薄化、高齢化の進行を背景に、地域コミュニティ活動への参加意識の低下に加えて、担い手の固定化・不足が深刻化しています。

今後、人口減少などの社会環境の変化に対応した持続可能な地域コミュニティづくりに向けて、多様な人材の発掘・育成など地域コミュニティ活動の促進を図るとともに、多様な主体が連携した環境づくりを進めます。

地域コミュニティ活動の促進

- コミュニティ意識の醸成に向けた啓発・情報発信
- 地域の活性化や課題解決に向けたまちづくり活動への支援
- 地域で活躍できる多様な人材の発掘・育成
- 地域活動の拠点施設整備や組織運営への支援

多様な主体が連携した地域コミュニティづくり

- 地域コミュニティが様々な世代や多様な主体と連携する環境づくり
- 地域コミュニティと事業所や市民活動団体、大学等との連携への支援



ともに暮らすまちを創る 多文化共生の推進

労働力不足を背景とした外国人材の受入れ拡大により、今後も外国人住民の増加が見込まれる中、生活者としての外国人住民のコミュニケーション支援や地域住民との相互理解の促進をより一層進めていく必要があります。

外国人住民を含め、外国にルーツをもつ人が、地域の一員として安心して生活できるように、互いの国籍や民族、文化や生活習慣の違いを尊重し、交流を深めながら共に暮らしていくための環境整備を進めます。

外国にルーツをもつ人が安全・安心に暮らすことができる環境の整備

- 生活情報・行政情報の多言語化や「やさしい日本語」使用によるコミュニケーションの支援
- 地域や学校等での日本語の学習支援
- 地域で生活する上で必要なルール等を知る機会の提供
- 地域生活で生じる様々な問題を相談できる相談窓口の充実
- 災害時の支援体制の整備

多文化共生のまちづくり

- 多文化共生の意識啓発・醸成
- 地域での相互理解や交流活動の促進

防災機能のある公園づくりをしてほしい

社会的繋がりを
もって生きる
ことが重要

子どもを
安心して
産み育てたい!



市民のみなさんからのコメント

ワークショップ意見



★ 基本目標 **4**

「未来を創り担うひと」 を育む

めざす姿

まちの未来を創り、
担っていくすべての人が、
自分の考えを表明でき、自分らしく学び、
成長できる環境が整ったまち

施策分野

子ども・若者

子育て

教育

生涯学習

施策

12

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



子ども・若者が健やかに成長できる環境の整備

貧困や児童虐待、ヤングケアラー、ひきこもりなど、子ども・若者や家庭が抱える困りごとが複雑に絡み合い、また、深刻化する中、その解決に向けて、地域や関係機関など社会全体で包括的に対応していく必要があります。

子どもの笑顔があふれるまちをめざし、子ども・若者を権利の主体として尊重しながら、生まれ育った環境にかかわらず、夢や希望をもって幸せな状態で成長できる環境づくりや健やかな育ちを守る地域づくりを進めます。



子ども・若者の権利の保障

- 子ども・若者の権利の啓発
- 子ども・若者の意見表明と社会参画の機会確保

子ども・若者が夢や希望をもって成長できる環境の整備

- 子ども・若者の体験機会や相談支援の充実
- 子ども・若者の居場所づくりの推進
- 若い世代の希望をかなえる出会いの機会創出や結婚支援の推進

子どもの健やかな育ちを守る支援体制の強化

- 困りごとを抱える子どもやきめ細かな配慮を必要とする子育て家庭への支援
- 貧困の連鎖を断ち切ることをめざした子どもの貧困対策の推進
- 地域・関係機関との連携や相談体制の強化による児童虐待の防止
- 子どもの発達支援体制の強化

施策

13



安心して子どもを育むことができる環境づくり

少子化や家族形態の変化、地域のつながりの希薄化など、社会環境が変化中、身近な地域に相談できる相手がないなど、子育て家庭の孤立化により、その不安感や負担感の増加が懸念されています。

このような社会環境やニーズの変化に対応した子育て支援への転換を図りながら、子育て家庭が安心して子どもを産み育てられる環境づくりや、子ども・若者・子育てを支え合う地域づくりを進めます。

安心して生み育てられる環境の充実

- 妊娠・出産に対する相談支援体制の充実、医療機関等と連携した産前産後の支援
- 家庭の状況や子どもの成長・発達段階に応じた切れ目のない子育て支援の充実
- 質の高い幼児教育・保育サービスの充実
- 各種手当や医療費助成など、子育てに関わる経済的負担の軽減

子ども・若者・子育てを支え合う地域づくり

- 地域で子ども・若者・子育てを支え合う活動の促進
- 地域での交流の場や居場所づくりの推進
- 子育てと仕事の両立の促進
- 結婚や子育てに関する啓発・情報発信の強化

各論

施策

14



未来につながる教育環境の充実

グローバル化やICTの進展など社会環境が大きく変化中、次世代を担う人づくりのための教育の充実が求められる一方で、様々なニーズを抱える子どもたちへの対応など、学校を取り巻く環境はますます複雑化しています。

子どもたち一人ひとりが大切にされ、自立した人として成長できるよう、人権・同和教育を土台とし、子どもの権利が保障され、学校・家庭・地域が連携した、未来につながる誰ひとり取り残されない教育と、安全で安心して学べる教育環境づくりを進めます。

未来につながる教育の推進

- 学力の保障と向上に向けた総合的な取組の充実
- ICTを活用した協働的な学びと個別最適化された学びの充実
- ふるさと久留米への誇りと愛着を育む教育の実践
- 久留米の未来を創る特色ある教育の実践

誰ひとり取り残されない教育の推進

- 将来の社会的自立に向けた不登校対応の総合的な取組の充実
- 特別な支援が必要な児童生徒に対するきめ細かな学習環境の提供
- 学校・家庭・地域が連携したコミュニティ・スクールの充実
- 日本語支援が必要な児童生徒への日本語教育の充実

安全で安心して学べる教育環境づくり

- 全市的な学校統合、小中連携・小中一貫教育の推進によるよりよい教育環境の確保
- 計画的な学校施設・設備等の整備・更新
- 教職員の働き方改革と人材育成の推進
- 人権・同和教育の推進

施策

15



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



学びを活かす生涯学習の推進

社会環境や価値観の変化に伴い、学びのニーズが多様化する中、誰もが生涯にわたって学び続けることができ、その成果が自己実現にとどまることなく、地域社会に活かすことができるまちづくりが求められています。

まちづくりや社会課題に関心を持ち、自分らしく学べる環境の整備や学びの成果を活かせる場・機会の充実を図るとともに、学びを通じて、地域コミュニティを支える人づくり、つながりづくり、地域づくりを進めます。

生涯学び、活躍できる 環境づくり

- 誰もがいつでもライフステージに応じて自分らしく学べる環境の整備
- 現代的・社会的な課題の解決に向けた学習機会の提供
- 学びの成果を活かせる場や機会の充実
- 企業や大学等と連携したりカレント教育の促進

「学び」による人づくり、 つながりづくり、地域づくり

- 地域コミュニティの担い手育成に向けた学びの場づくり
- 学びを地域活動や地域課題解決につなげる仕組みづくり
- 地域での学びを支援する人材の育成

久留米市の魅力を
改めて市内外へ
発信していくことが
重要

子育てしやすく
働きやすい
環境づくり

地球温暖化や
ごみを減らす
対策が必要



市民のみなさんからのコメント

ワークショップ意見



★ 基本目標 **5**

「楽しく心豊かな暮らし」 を実現する

めざす姿

文化芸術、スポーツ、歴史に触れ、
体験・活動する場や機会がちりばめられ、
誰もが暮らしの中に喜びや楽しみを
感じられるまち

施策分野



施策

16



多彩な文化芸術活動の促進

文化芸術は、暮らしに彩りと潤いを与え、人々の豊かな感性や個性を育むとともに、人々や地域につながりや活力をもたらし、心の豊かさを実感できるいきいきとした社会づくりを進める上でも、その重要性が高まっています。

久留米シティプラザや久留米市美術館等の文化施設を拠点に、誰もが文化芸術に触れ、活動できる環境づくりを進めるとともに、こどもの創造的体験の充実や将来の文化芸術の担い手育成を図ります。

文化芸術に触れ、活動する機会の充実

- 文化施設の活用や地域、学校などと連携した鑑賞・体験機会の充実
- 子どもをはじめ、誰もが文化芸術を体験・活動できる機会や場の創出
- 多様な主体による文化芸術を通じた交流やつながりづくりの促進
- 久留米にゆかりのある文化芸術の取組の充実

文化芸術を支える基盤づくり

- 音楽など文化芸術分野における若い世代をはじめとした担い手の育成や支援
- 久留米の文化芸術の振興を支える団体等の活動支援
- 久留米の文化芸術に関する効果的な情報発信

施策

17



スポーツに親しむ環境づくり

豊かで活力ある社会づくりに向けて、心身の健全な発達や健康維持などに加えて、地域コミュニティの形成や地域・経済の活性化にも寄与するスポーツの力を最大限に活用していく必要があります。

市民のニーズやライフステージに応じたスポーツ機会の充実や活動の活性化をはじめ、スポーツを支える人材・施設の充実、スポーツを活かした地域活性化など、誰もがスポーツを楽しみ、交流できる環境づくりを進めます。

スポーツ機会の充実・活動の活性化

- 年代や障害の有無等にかかわらず、誰もが身近にスポーツを楽しむ機会の充実
- 大規模大会で活躍が期待されるジュニアアスリートの育成、支援
- 多様なニーズを踏まえた新たなスポーツなどの普及促進

スポーツ環境基盤の充実

- スポーツ施設の充実と活用促進
- 指導者やボランティアなどスポーツを支える人材の確保、育成

スポーツを活かした地域活性化

- 大規模大会などスポーツコンベンション誘致による地域活性化
- 連携協定を活かしたプロスポーツチームなどによるスポーツイベントの充実

施策

18



まちの魅力を高める歴史遺産の継承

地域の特性を形成し、そこで暮らす人々の地域とのつながりや郷土愛の醸成、新たなまちの魅力創出に欠かすことのできない地域資源としての歴史遺産を、地域で守り、活かしながら、次世代に継承していくことが求められています。

長く受け継がれてきた地域の遺跡や伝統行事・文化など、多種多様な歴史遺産の保存や地域資源としての有効活用、理解促進を地域との協働により進めながら、まちの魅力向上と郷土愛の醸成を図ります。

歴史遺産の保存・活用

- 地域や団体との協働による歴史遺産の保存・活用
- 「史跡筑後国府跡」の継承に向けた整備・活用
- 歴史遺産ストーリーの構築による筑後川遺産登録の推進

郷土愛を育む歴史遺産の理解促進

- 郷土の歴史・文化を身近に感じる機会の創出・理解促進
- 歴史遺産が持つ魅力・価値の効果的な情報発信



「魅力ある快適な都市」 をデザインする

めざす姿

魅力ある都市空間が中心部に形成され、
中心部と地域の生活空間が公共交通や
道路ネットワークで結ばれた
コンパクトで住みやすいまち

施策分野

まちなか
住環境

交通

公園緑化

都市
インフラ

施策

19



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



快適で暮らしやすい魅力的な拠点の形成

社会環境の変化や施設の老朽化などの影響を受けて、都市機能が集積するまちの中心部の広域的な求心力やにぎわいが低下している状況にあり、魅力的な中心市街地の形成が求められています。また、進行する人口減少社会下においては、居住エリアの集約など効率性と快適性を兼ね備えたまちづくりも重要となります。

広域的な拠点として、求心力をもった魅力ある都市空間を中心部に創出するとともに、拠点駅周辺の機能強化や都市機能・居住空間の戦略的な誘導による土地利用の展開を図りながら、拠点市街地の形成を進めます。

魅力的な中心市街地の創出

- JR久留米駅周辺や西鉄久留米駅周辺の拠点機能の強化
- 中心市街地の多様な交通手段の充実による利便性の向上
- 若者にも選ばれる居心地がよく歩きたくなる都市空間の形成
- 駅周辺の再整備と連動した住環境やオフィス環境の充実
- 民間など多様な主体と連携を強化するエリアマネジメントの推進

コンパクトな拠点市街地の形成

- 居住空間の集積に向けた拠点駅周辺の市街地整備の推進
- 地域の生活拠点における生活利便施設の更新・誘導
- 空き家や低未利用地を活用した居住誘導の推進
- 集約型都市の実現に向けた土地利用制度の見直し

施策

20



快適で便利な交通環境の構築

人口減少の進行に伴い、地域経済の縮小や交通などの日常生活に必要なサービスの維持の困難など、生活の持続性の低下が懸念される中、誰もが安全で安心して快適に暮らし続けられるために、多様な移動手段が利用できる利便性の高い交通環境の構築が重要となります。

民間事業者や地域など多様な主体との連携・協働のもと、地域間をつなぐ公共交通機能の強化や快適な移動環境の形成を図るとともに、幹線道路やインターチェンジなどの広域的な道路ネットワークを活かした活力ある都市づくりを進めます。

地域公共交通ネットワークの再構築

- 効率的に移動できる駅の利便性やアクセス性の向上
- 官民連携による持続可能な鉄道やバスなどの交通体系の形成
- 地域特性に応じた生活支援交通の構築

道路交通ネットワークの形成

- 広域交流を支える道路交通ネットワークの充実
- 道路交通ネットワーク強化に向けたスマートインターチェンジの整備推進

安全・快適な移動環境の形成

- 交通事故や渋滞の減少、利便性の向上に資する道路の整備
- 歩行者や自転車が安心して通行できる道路空間の整備
- 官民連携やICTを活用した新たな移動手段の確保と交通利便性の向上

施策

21



使われ活きる公園づくりとまちを彩る緑化の推進

人々の価値観や生活様式が多様化し、心の豊かさや潤いのある生活が求められる中、人々の暮らしに憩いや交流をもたらす、彩りとにぎわいを創出する、緑を活かした質の高い都市空間の重要性が高まっています。

まちづくりの拠点となる公園の整備・再整備をはじめ、地域ニーズに対応した活用される公園づくりや計画的な更新による適正な維持管理に取り組むとともに、街路樹ネットワークなどまちを彩る緑化を進めます。

拠点公園の整備・再生によるにぎわい創出

- 広域的な求心力を備えた正源氏公園の整備
- まちづくりの拠点となる公園の再整備
- 民間事業者など多様な主体と連携した公園の管理運営・利活用

使われ活きる公園への再生

- 利用実態や地域ニーズに対応した使われ活きる公園づくり
- 公園施設の計画的な更新による適正な維持管理

まちを彩る緑化の推進

- 都市の緑の創出・保全
- 市民、事業所、行政等の協働による緑化の推進
- まちの顔となる街路樹ネットワークの推進

施策

22



経営的視点による都市インフラの管理・運営

市民生活の安全・安心や社会経済活動の基盤となる都市インフラの老朽化が、今後、加速度的に進むことが見込まれている中、経営的視点に立った効率的かつ安定的な都市インフラの管理・運営が重要となります。

都市インフラの優先度を明確にした適正な維持管理をはじめ、民間活力の導入など官民連携による都市インフラの管理・運営や、耐震化による上下水道施設の強靱化を進めます。

都市インフラの適正な維持管理

- 道路や河川など都市インフラの優先度を明確にした維持管理
- 安全性を確保するための適正な維持管理の充実

上下水道施設の強靱化

- 上下水道施設の老朽化対策及び耐震化の推進
- 上下水道施設の効率化を考慮した施設の更新や統廃合

官民連携による管理・運営の推進

- 都市インフラの管理・運営における民間活力導入の推進

各論

副業しやすい制度や仕組みがほしい

若者が行きたくなるお店の誘致も重要

久留米に既にあるものを改めて見直す機会が必要

市民のみなさんからのコメント

ワークショップ意見



「豊かな自然と恵まれた環境」を次世代につなぐ

めざす姿

環境問題を自分ごととして捉え、豊かな自然環境と生活環境を守りながら、脱炭素社会、循環共生型社会の実現に向けて行動するまち

施策分野

脱炭素型
社会

循環型
社会

自然・
生活環境

施策

23



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



脱炭素型のライフ・ビジネススタイルへの転換

気候変動がもたらす地球温暖化などの環境危機に直面している中で、都市の仕組みや暮らしのあり方をあらゆる領域で環境に配慮した持続可能な形に転換するため、市民や事業者等と行政とが一体となり、地域社会全体で環境問題に取り組んでいくことが求められます。

先進的に行ってきた公共施設の脱炭素化や再生可能エネルギーの活用に取り組むとともに、一人ひとりが自ら考え、環境に配慮した行動を実践するまちづくりを進めます。

建築物脱炭素化・再生可能エネルギー導入の促進

- 公共施設等の ZEB 化や住宅の ZEH 化など建築物の脱炭素化の促進
- 再生可能エネルギーの導入促進
- ごみ処理発電などを活用したエネルギーの地産地消の推進

市民の学習・教育・啓発の推進

- 脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた啓発の充実
- 市民の主体的な学びや協働による実践の促進

企業等の脱炭素経営の促進

- 脱炭素ビジネススタイルへの転換に向けた啓発の充実
- 中小企業等への脱炭素経営意識の醸成と取組の促進

施策

24



資源の消費抑制・循環型社会づくりの推進

循環型社会の実現に向けて、日々の生活や事業活動の中で、地域社会が一丸となって2R（リデュース・リユース）＋R（リサイクル）を実践することや、ごみ処理施設の安定的な運営・整備が必要となります。

市民のライフスタイルや事業者の業態等を踏まえながら、様々な機会を捉えた意識醸成や主体的な行動を促す取組を進めるとともに、上津クリーンセンターの更新など、将来にわたり安全で安定したごみ処理体制を構築します。

2R＋Rの推進

- リデュース（発生抑制）を最優先にした市民や事業者の環境意識の醸成
- プラスチックごみ、食品ロスの削減
- リユース（再使用）の促進
- 分別の徹底とリサイクル（再資源化）の推進

安全で安定したごみ処理体制の継続

- 次期上津クリーンセンターの整備
- 2つのクリーンセンターによる安定したごみ処理体制の構築

各論

施策

25



自然と多様な生き物が共生する環境づくりの推進

気候変動をはじめ、生物多様性の損失や内陸部から流出する海洋ごみ問題など、地球環境の危機は深刻さを増し、将来への影響が強く懸念されています。

本市の都市個性である筑後川や耳納連山などの豊かな自然環境を地域社会全体で守り育て、誰もが快適に過ごすことができる美しいまちづくりを進めます。

自然環境・生物多様性の保全

- 多様な生き物が生息できる自然環境の保全
- 豊かな自然環境が有する多様な機能の活用・保全
- 事業所等との協働による希少種保全・保護の推進
- 市民団体や事業者等との協働による保全活動を担う人づくり

生活環境の向上

- 環境汚染等の未然防止
- クリーンパートナーなど環境美化活動の促進
- ごみの不法投棄や野外焼却の防止

「新たな価値、地域の稼ぐ力」を生み出す

めざす姿

地域産業が創り出す付加価値が高まり
稼ぐ力が増すことで、市民の所得水準が向上し、
地域の産業を担う人材が確保できているまち

施策分野

産業振興

農業振興

労働環境



施策

26

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



競争力の高い地域産業づくり

地域経済の活力を高めるためには、時代の潮流を捉えた戦略的な産業政策の下、革新的な技術・発想による新たな価値の創出をはじめ、既存産業の充実や産業の集積を図りながら、競争力のある地域産業へと発展させていくことが重要です。

地域企業の生産性向上等による成長支援をはじめ、バイオ産業の拠点化による新産業創出、創業支援の充実を図りながら、新たな産業団地の整備や成長分野企業の誘致による産業集積を進めます。



地域企業の成長の支援

- 地域経済をけん引する企業への成長に向けた支援
- 先端技術を活用した生産性向上等の経営力強化の支援

新産業創出・創業支援の推進

- バイオ産業の拠点化推進による新産業の創出
- オープンイノベーションの推進によるものづくり企業の支援
- 若年層向け創業支援の充実・強化
- 産学官金と連携した創業ネットワークの推進

企業誘致の推進

- 産業集積の受け皿となる新たな産業団地の整備
- 雇用創出や経済波及効果につながる成長分野企業の誘致推進

施策

27



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



魅力と活力にあふれる農業の推進

久留米市は、筑後平野の肥沃な大地のもと、多種多様な品目を生産する県内最大の農業都市である一方で、全国的な傾向と同様に、農業従事者の減少・高齢化が進行し、持続可能な農業基盤の構築が喫緊の課題となっています。

デジタル技術を活用した生産性の向上をはじめ、農産物の高付加価値化による農業者の所得向上、久留米産農産物や農業都市くるめの魅力発信の強化を図りながら、将来の農業を担う多様な人材の育成・確保を進めます。

農業の生産性・付加価値の向上

- 先端技術を活用したスマート農業や気候変動に対応した農業の推進
- 持続可能な農業生産基盤の整備・保全、農地の利活用の促進
- 農産物の高付加価値化や6次産業化の推進による農業経営の多角化

農業で活躍する担い手づくり

- 認定農業者の育成や集落営農組織の法人化など基幹的な担い手の経営力の強化
- 新規就農者や青年就農者など次世代の担い手の確保・育成
- 農福連携や外国人材の活用などによる多様な人材の確保

キラリと光る農業の魅力発信

- 農業体験など地域資源を活用した関係人口の拡大
- 農業都市くるめの魅力発信によるブランド力の向上
- 地産地消を通じた久留米産農産物の魅力発信と愛着醸成

各論

施策

28



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



多様な人材の確保と魅力ある労働環境づくり

生産年齢人口の減少や若い世代の転出などにより、人材不足が顕在化する中、地域経済の持続的な発展に向けて、若い世代をはじめ、女性や高齢者、障害者、外国人材など多様な人材に選ばれ、それぞれの能力を発揮できる働きやすい環境をつくる必要があります。

仕事と家庭の両立や女性が活躍できる環境づくりなど、働きやすい職場環境の整備を促進するとともに、魅力ある職場として選ばれるための情報発信など、地域の雇用・就労の促進を図ります。

多様な人材確保のための雇用・就労の促進

- 産学官金労の連携による学生・若年者の地元就職、UIJターン就職の促進
- 働く場所として選ばれるための市内企業の魅力発信
- 女性の再就職や転職などの就労相談・支援
- 高齢者・障害者の活躍促進のための就労機会の確保
- 外国人材の受入れに関する国や県、関係団体との連携

働きやすい職場環境の整備促進

- 仕事と家庭を両立できるワーク・ライフ・バランスの促進
- 女性活躍に関する意識啓発や能力開発の機会の提供
- 福利厚生の実質や職業能力の向上に向けた支援



「久留米ならではの魅力」を高め広げる

めざす姿

市民が誇りと愛着を持ち、
多くの人々に訪れたい、住んでみたい、
住み続けたいと思われ、
若者や女性にも選ばれるまち

施策分野

観光振興
にぎわい

シティ
プロモー
ション

拠点都市
広域連携

施策

29



訪れたくなる・楽しみたくなる魅力の創出

将来にわたり、魅力あるまちとして活力を維持していくためには、人、もの、情報の活発な交流を通じて、新たな価値を生み出しながら、久留米ならではの魅力を創出していくことが重要となります。

商業機能の維持・活性化や MICE 誘致、集客交流イベントによるにぎわいの創出を図るとともに、自然や文化などの地域資源を活かした魅力ある観光地域づくりを進め、久留米ならではの魅力を高めます。

まちのにぎわいの創出

- 中心市街地や地域商業エリアでの商業機能の維持・活性化
- 地域のポテンシャルを活かした MICE 誘致の推進、受入環境の整備
- 企業や団体と連携した集客交流イベントによるにぎわいの創出

地域資源を活用した観光ブランディング

- 地域資源を活かした魅力的な観光コンテンツの充実
- 新たなニーズを捉えた観光商品の高付加価値化
- 戦略的なインバウンド誘客の推進
- デジタル化・DX 推進による観光分野の受入環境・基盤づくり

施策

30



魅力を語りたくなる久留米イメージの創出・PR

市民が誇りと愛着を持ち、多くの人が住んでみたい、住み続けたいと思える、若い世代にも選ばれるまちであるためには、久留米が持つ様々な資源を磨き上げ、久留米ならではの魅力として幅広く認知されることが重要です。

久留米の歴史や文化、観光資源、住みやすい住環境などが、若い世代にも共感され、その魅力を主体的に広めたいとなるような戦略的なプロモーションを実施するとともに、移住・定住を促すための効果的な仕掛けづくりを図ります。

久留米の魅力を広めたいとなる戦略的なプロモーション

- くるめの魅力を発見、再確認するインナープロモーションの展開
- 若い世代に届き、共有され、広がるデジタルコンテンツの充実
- 市民が主体となった情報発信の活性化
- 久留米への注目、興味を集めるふるさと大使等の活用

移住・定住を促す効果的な仕掛けづくり

- 様々な媒体や手法を通じた久留米の情報に触れる機会の提供
- 移住を考え、定住につながる支援・相談プログラムの提供
- 福岡都市圏をターゲットとした移住促進の強化

各論

施策

31



拠点都市機能の発揮と広域連携の充実強化

人口減少や福岡市への人・経済の集中が進む中で、久留米市には、福岡県南地域の中核都市として、持続可能な都市であり続け、地域全体の一体的な成長や発展をけん引していく役割が求められています。

経済、交通、文化、教育、医療など高次都市機能の集積による拠点性の充実強化を図り、広域求心力を高めるとともに、地域全体の発展に向けて拠点都市機能を発揮しながら広域連携を推進し、併せて、集積する学術研究機能を活かした地域活性化を進めます。

高次都市機能の集積による拠点性の充実強化

- 拠点駅やスマートインターチェンジなどを活かした幅広い波及効果をもたらす地域の核づくり
- 産業基盤、高度医療、教育、文化芸術などの機能集積を活かした広域求心力の強化

拠点都市機能の発揮による広域連携の推進

- 地域全体の成長・発展に向けた近隣自治体との連携の推進
- 連携中枢都市圏における人口や社会・経済活力の維持に資する取組の推進
- 各分野の課題や目的に応じた柔軟な枠組みによる広域連携や都市交流の推進

学術研究機能の集積を活かしたまちづくり

- 大学等や公的研究機関などの学術研究機能の活用・連携による地域活性化
- 大学等の知的・人的・物的資源を活かした地域課題の解決



★ 基本目標 **10**

「スマートな行財政運営」 に転換する

めざす姿

多様な主体がまちづくりに参画する
仕組みを構築し、協働を進めながら、
社会環境の変化に対応できる
スマートな行財政の運営

施策分野

協働

行財政

施策

32



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



多様な主体と築く協働によるまちづくりの推進

社会環境の変化による地域課題の多様化・複雑化に加え、あらゆる分野での担い手不足の顕在化などにより、行政と市民が一体となって取り組む協働のまちづくりの重要性が更に増えています。

そのため、市民のまちづくりへの主体的な参画を促進するとともに、地域や団体、事業者など多様な主体との協働を広げ深める仕組みを構築します。

市民のまちづくりへの参画促進

- 広報紙やSNSなど様々な媒体や手法を活用した地域課題や市政情報の市民との共有化
- まちづくりに関する市民意見の聴取や対話を通じた市民の参画促進
- 事業の企画から実施、検証までの各段階における市民との協働の推進

多様な主体との協働の仕組みの構築

- 多様な主体との様々な協働の取組を生み出す仕組みの構築
- 多様な主体の強みを活かした役割分担と連携の強化

施策

33



効率的で健全な行財政運営の推進

加速する少子高齢化・人口減少をはじめ、デジタル社会の進展や厳しい財政状況など、行財政運営を取り巻く環境は大きく変化しており、従来の制度や枠組みでは機能しない状況が生じつつあります。

こうした変化に柔軟かつ的確に対応できる行財政運営を行うため、デジタル技術の活用や民間活力の導入、広域連携の深化、徹底した行財政改革など制度・手法の見直しや創意工夫を更に進めます。

自治体 DX の推進

- デジタル化による「行かなくていい」「書かなくていい」「待たなくていい」「迷わなくていい」市役所の実現
- デジタル技術の活用による市民サービスの向上と業務効率化の推進

行財政改革の推進

- エビデンスに基づく政策立案や事業の見直しなど事業の新陳代謝の推進
- 公共施設の計画的・効率的な管理及び見直し
- 未利用地や施設の空きスペースなどの公有財産の利活用の強化
- 民間の創意工夫やノウハウを取り入れる仕組みの構築
- 自治体共通の課題に対応する広域連携の推進・強化

スマートな行財政運営を担う職員の育成と確保

- 社会環境の変化に対応できる職員の育成
- 心身ともに健康で、個々の能力を発揮するための柔軟な働き方の確立
- 人材の確保・定着の促進

各論

